（記入要領）更生医療、育成医療

１　「保険医療機関」の名称は、正式名称を記載すること。

２　「担当しようとする医療の種類」は、次のうち希望するものを記載すること。

　　(1)眼科に関する医療 (8)心臓移植に関する医療

 　 (2)耳鼻咽喉科に関する医療 (9)腎臓に関する医療

 　(3)口腔に関する医療 (10)腎臓移植に関する医療

 　(4)整形外科に関する医療 (11)小腸に関する医療

 　(5)形成外科に関する医療 (12)歯科矯正に関する医療

 　(6)中枢神経に関する医療 (13)免疫に関する医療

 　(7)脳神経外科に関する医療　　　　　 (14)肝臓移植に関する医療

　　(8)心臓脈管外科に関する医療　　　　　(15)肝臓に関する医療

３　「主として担当する医師または歯科医師の氏名」は、医療の種類ごとに記載すること。

４　「自立支援医療を行うための入院設備の定員」は、医療の種類ごとに記載すること。

５　（別紙１）経歴書の「学位」は、専門科目に関する学位の有無を記載すること。

６　（別紙１）経歴書の「関係学会加入状況」は、加入している学会名および学会における必要な記録を記載すること。

７　（別紙１）経歴書の「任免事項」は、次の点に留意し、記載すること。

　　(1)医師免許取得時期を明記し、医師免許証の写しを添付すること。

　　(2)病院研究機関等医師または歯科医師が勤務しまたは研究等のために利用した施設につ　　　　いては、関係した専門科目名まで必ず記載すること。

　　　（例えば、○○医科大学眼科学教室または○○病院眼科のように記載し、○○医科大学、○○病院のように省略しないこと。）

 (3)勤務先における身分（例えば、医長、医員、講師、助手等）を明確に記載すること。

 (4)非常勤職員については、１か月または１週間あたりの勤務日数、延時間数を明確に記載すること。

 (5)２以上の施設に兼務する等の場合は、それぞれの施設における勤務条件または利用状況等を具体的に記入すること。

（例えば、○○医科大学整形外科週４日（延○時間勤務）、○○病院週２日（延○時間勤務）等）

 (6)大学院については、専門コースを明確に記載すること。（例えば、○○医科大学大学院医学研究科整形外科学教室等）

８　（別紙１）経歴書には、指導者氏名、研究テーマ、研究の内容別（講義の受講、臨床的研究、理論的研究、実習等）期間、従事日数（１か月または１週間あたり）、その他研究態様を明らかにするための主任教授等による証明書（別紙３）を添付すること。

９　 腎臓に関する医療および小腸に関する医療を担当しようとする場合は、それぞれ（別紙４）および（別紙５）による臨床実績等に関する証明書を経歴書に添付すること。

10　心臓移植術後および肝臓移植術後の抗免疫療法に関する医療を担当しようとする場合は、それぞれ（別紙６）（別紙７）および（別紙８）（別紙９）による臨床実績証明書を添付すること。

　　医療機関の主たる医師に臨床実績が証明されるばあいは、それぞれ（別紙６）および（別紙８）のみの提出でよい。

11 （別紙２）自立支援医療を行うために必要な体制および設備には、それぞれの医療で特に必要とされるものを主に記載すること。